

労働者負担の撤廃へ向けて

今こそ団結せよ!

二月十日(日)に会社内会議室において、第一回中央委員会を開催しました。

開会の挨拶

冒頭、福島書記長より開会の挨拶がありました。
「今日は二〇一三年度の春闘要求を決定し、要求実現へ向けて行動を開始する重要な中央委員会です。今春闘では、要求を始めて五年目になる『労働者負担の撤廃』を主軸に交渉を行い、今まで以上に組織体制や行動力を高めて今春闘に望む決意ですので、中央委員の皆さんには集中した議論を宜しく願います」と挨拶をされました。

2013春闘 第1回中央委員会報告



全力で春闘に臨む! (菊池執行委員長代行)

続いて議事進行について述べ、議長に鈴木正徳氏、書記に高田知義氏を選出しました。

出欠状況の確認

福島書記長より出欠状況の報告があり、定数十五名中十三名の出席で、欠席が二名、そして二通の委任状が出されている事が報告されました。(内一名遅刻・一名欠席)

鈴木議長が組合規約第十八条に基づき第一回中央委員会が成立している事を宣言しました。

執行部

- 菊池のみ執行委員長代行
福島進書記長
秋山英輝執行委員
石井貴也執行委員
筒井守執行委員

中央委員

- 原田孝幸 佐藤幸雄
渡部正博 野村朗
北川章夫 新井義晴
古川雅彦 斎藤光一
高田知義 鈴木正徳
大堀義孝 阿部彰
小野純一 阿實昭房
(敬省略)



議長に選出された鈴木氏(左)書記の高田氏(右)

菊池執行委員長代行挨拶

続いて菊池執行委員長代行より挨拶がありました。

「明番集会で報告した通り、SKC移転問題について本日まで四回の労使交渉を行ないました。今回のSKC移転計画で東洋交通のスペースが手狭になるのは、職員の事務所、女性用フロア及び男性仮眠室(1フロック分)ですの

で、男性で仮眠室を利用しない人には、ほとんど影響がありません。最初に出された計画よりも手狭になるスペースが少ないので、SKCの移転については受け入れる事で合意しました。合意する条件として、女性フロアの整備、駐車スペースの利用方法と使用時間を制限する事を確認しました」

「一月十五日に経営より出された『秋の労使協議会の回答書』にて『首都高速大宮線帰路料金会社負担』及び『資格取得費用の全額会社負担』という回答を出した事は、東洋交通の乗務員の労働条件改善のための誠実な回答と評価し

ました」
「二月十五日に第一回目の賃金検討委員会を行ないました。『努力した者が報われる賃金体系』を目指して、未収金手数料5%問題が解決するまで随時賃金検討委員会を開催します。今日は『二〇一三年春闘要求』を審議して頂きますが、中央委員の皆さんには、自分の事だけではなく、東洋交通の乗務員全体の事を考えて意見を発言をする様に宜しくお願いします」と挨拶を述べました。

『タクシー事業法』制定へ向けて運動を強化!

続いて福島書記長が我々を取り巻く情勢について、次の様に述べました。
『タクシー事業法』という強制力を持った法律を何としても今国会で議員立法として実現させたい。まず、皆さんには三月七日に行なわれる『ハイタクフォーラム総決起集会』への動員のご協力をお願いすると共に、春闘の進捗状況によっては、社内での組



「目に見える運動の強化を!」意見を述べる中央委員の方々

二〇一三年春闘要求書(案)について

続いて二〇一三春闘要求書(案)の審議に入りました。
福島書記長が要求項目毎に主旨を説明し「首都高速帰路料金会社負担について『大宮線及び継続する五号線』は『営業区内までの帰路料金を会社負担にする』との回答を得ています(二月十三日より適用)『木更津以遠のアクアラインと継続する湾岸線』については既に適用されています。従って、今春闘は首都高速の帰路料金を『全額会社負担』で要求します。また、公共交通機関としての責任、そして『安全・安心』を提供するためにも『スタッドレスタイヤ四輪装着』を新たに要求します」と補足を述べました。(裏面へ続く)



2013春闘要求を熱心に討議する中央委員